

令和6年10月2日

需要家 各位

埼玉県北部生コンクリート協同組合  
理事長 田坂文宏



### 石灰石骨材100%指定に関する件

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊協同組合の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊協同組合内への骨材供給は骨材生産業者の設備の老朽化をはじめ、働き方改革による人手不足や高齢化及び物流の2024年問題による輸送力の低下により、石灰石をはじめとする骨材の安定確保が厳しい状況となっております。

特に石灰石は、西側地区は武甲山産（埼玉県秩父市）、東側地区は栃木産（栃木県佐野市）を使用しておりますが、武甲山産の石灰石については骨材生産業者より2026年度には生産量の25%、2033年度からは50%の減産計画が打ち出されております。

また、東側地区の栃木産石灰石においても具体的減産計画こそ示されておきませんが設備や要員、輸送力さらには新たな鉱区確保の問題等により供給量が減少し、これまでのような石灰石の確保ができなくなることが予想されます。

弊協同組合では、従来は石灰石骨材と石灰石以外の骨材の複合配合が標準的でしたが、一部石灰石100%指定の配合に対するご要望にもお応えして参りました。

しかしながら、石灰石の調達が困難になる状況の中、石灰石100%指定の配合のご要望にはお応えすることができない状況になると思われまます。

弊協同組合としましては、今後、石灰石100%指定以外での配合の検討をお願いする次第です。

需要家の皆様におかれましては、勝手なお願いで甚だ恐縮に存じますが、何卒かかる事情をご賢察の上ご理解を賜りまようお願い申し上げます。

敬具